

TSC患者(児)さんに対する全身検査-FUJITA Recommendation-

【TSC患者さんにおける検査の重要性】

TSCは様々な症状が全身性に発生する疾患であり、また発現時期が異なります。年齢期に応じて適切な検査を実施することが推奨されています。

【本シート作成の目的】

全てのTSC患者さんに適切な時期に必要な検査が行われ、早期治療実現に少しでも貢献できれば幸いです。また効率良く検査が実施出来るように検査プランの一例もお示し致します。

入院時/入院中にチェックしたい項目
身長、体重、頭囲(小児患者さん)
IQ (またはDQ)
頭部MRI
脳波
眼科チェック
歯科チェック
皮膚科チェック
心電図
心エコー
胸部レントゲン(年長児では胸部CT)
腎エコー(年長児では腹部MRI)

治療時の検査
血液検査
尿検査
便潜血(消化管の問題がある場合)

小児では鎮静が必要な検査があり、当院では比較的強い鎮静を行った場合、一泊入院をおすすめしています。

当院での検査プランの一例：小児患者さんの場合

Day 1 am	①身長、②体重、③頭囲、④採血(ルート確保)
	⑤採尿、⑥心電図、⑦胸部レントゲン
pm	⑧頭部MRI★、⑨腹部MRI★、⑩心エコー
Day 2 am	⑪皮膚科、⑫眼科
pm	⑬脳波、⑭歯科
Day 3 am	⑮発達、⑯その他必要な検査

★鎮静が必要な検査

【先生方や親御さんへ】

全ての患者さんに適切な検査を漏れなく受けて頂けるように検査入院の一例を掲載致しました。遠方からの受診や複数科を順番に診察するという患者さんのご負担を考えて、できるだけ短い入院スケジュールで総合的な検査ができるよう組んでおりますのでお役に立てただけたらと思います。